

be動詞 一般動詞 肯定文	<p>① I am Meg Brown. (私はメグ・ブラウンです。)</p> <p>② I like Japanese food. (私は日本食が好きです。)</p>
---------------------	--

① I amは「私は…です」という意味。会話文ではよくI'mと短縮された形で書く。
 「'」はアポストロフィといい、短縮する場合はこれを使う。
 am, is, areをbe動詞と呼び、「…である、…がいる」という意味の動詞のである。
 後ろに形容詞をつけ、気分や状態を表すことができる。

② 英語は日本語と違い、主語の後ろにすぐに動詞が来る。be動詞ではなく、動作を表す動詞を一般動詞と呼ぶ。
 基本的に、1つの文の中に動詞は1つ。be動詞と一般動詞はいっしょに使うことはできない。

Hello, everyone.
 こんにちは。みなさん

人と会話する前にはhiやhelloというあいさつから始める。

I'm Margaret Brown.
 私はマーガレット・ブラウンです。

I'mはI amの短縮形。欧米では、「名・姓」の順番でいう。

Call me Meg.
 めぐと呼んでください。

Call me …は「私を…と呼んでください。」という意味で、動詞から始める文を命令文という。

I'm twelve.
 私は12歳です。

I'm+「年齢(数字)」で「私は…歳です。」という意味になる。数字の後ろに「years old」をつけることもある。

I often drink green tea, too.
 私はよく緑茶も飲みます。

oftenなどの頻度を表す副詞は一般動詞の前におく。「, too」で「…も」という意味で文末につける。

- ① こんにちは。みなさん

- ② 私はマーガレット・ブラウンです。

- ③ めぐと呼んでください。

- ④ 私は12歳です。

- ⑤ 私はよく緑茶も飲みます。
